

# 空白地域に 日本語教室を立ち上げるには



## ～開設の過程と体制整備～

### はじめに…



- 「日本語教室ってなに？」 「何かからはじめればいいのか」と不安だらけ…
- 外国人ニーズなどの基礎的なデータもなく、事業の進め方や事業構築の方法が全く分かりませんでした…
- 「私は何をすればいいんですか？」と質問した…

# はじめに…



- 「日本語教室ってなに？」 「何かからはじめればいいのか」と不安だらけ…
- 不安なことを**具体化**すると…
  - 地域日本語教室って何？
  - 誰に聞けば分かるの？
  - そもそも日本語教室って必要なの？  
企業や大学、学校がすればいいのでは？
  - すごく忙しくなるのかな…？

## 「生活者」という考え方



- 日本に居住する外国人の生活の側面に焦点を当てる言葉
- 誰もが持っている「生活」という側面に着目
- 日常的な生活を営む全ての外国人を指すもの

外国人も「地域で暮らす生活者」であり「住民」

# 共に生きる「まちづくり」のために…



補償教育としての  
日本語教育

公的機関による  
一定以上の質と量

既習の「ことば」を最大限活  
用し、コミュニケーションす  
ることを試みる



「やさしい日本語」

相手が分かる「ことば」で、  
コミュニケーションすること  
を試みる

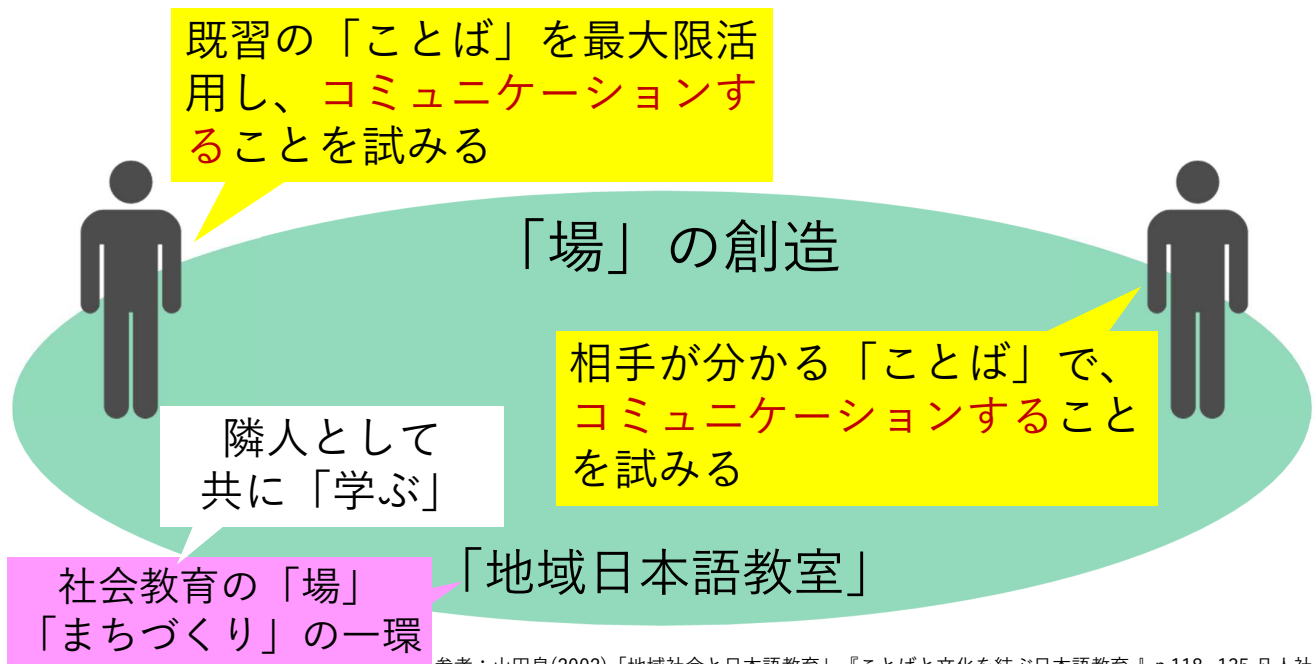


参考：山田泉(2002)「地域社会と日本語教育」『ことばと文化を結ぶ日本語教育』p.118 -135 凡人社

# 共に生きる「まちづくり」のために…



コミュニケーション能力は  
「私」の能力ではなく、「私たち」の能力



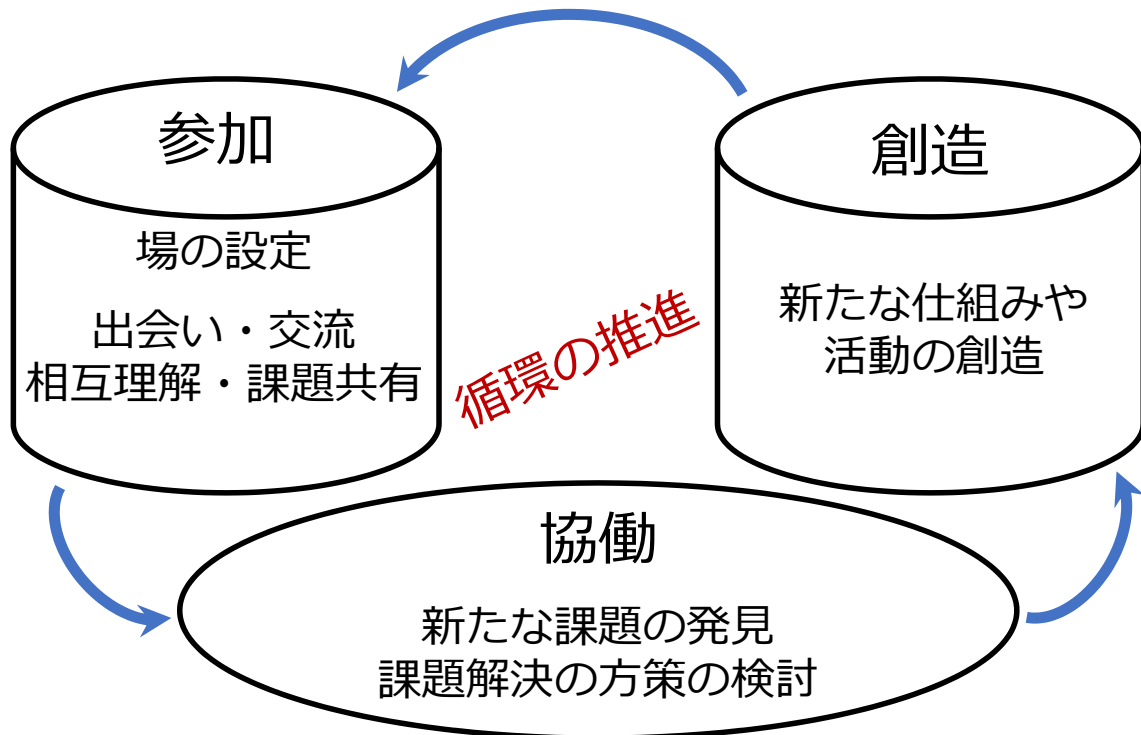
参考：山田泉(2002)「地域社会と日本語教育」『ことばと文化を結ぶ日本語教育』p.118-135 凡人社

## 地域日本語教室の機能



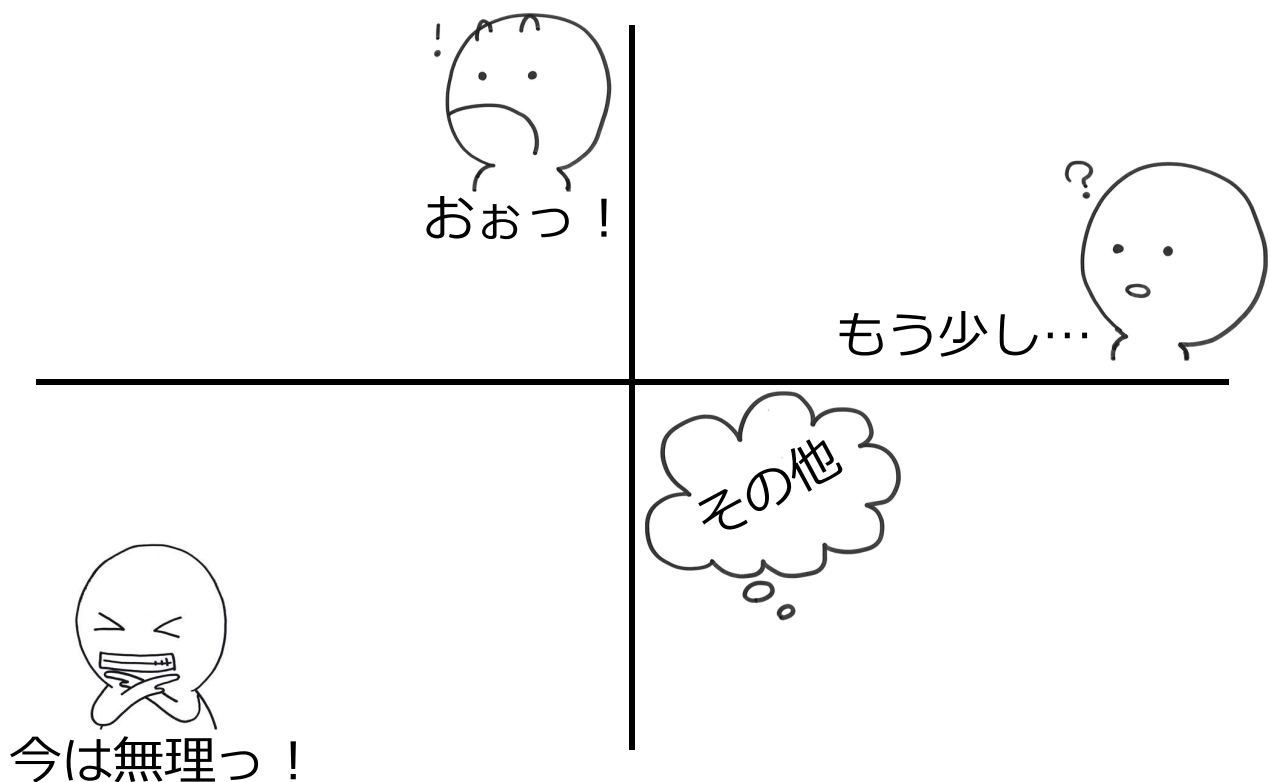
- 居場所
  - 「そこにいたい」「いて楽しい」
  - 「ありのままの自分でいられる」
- 交流
  - 情報交換の場 = 地域活動への入り口
- 地域参加
  - 交流の結果 → 地域参加への一歩
- 国際理解
  - 多様性の存在を認め、寛容で柔軟な思考や態度が育まれる場
- 日本語学習
  - お互いにコミュニケーションの仕方を学ぶ場

# 共に生きる「まちづくり」のために…

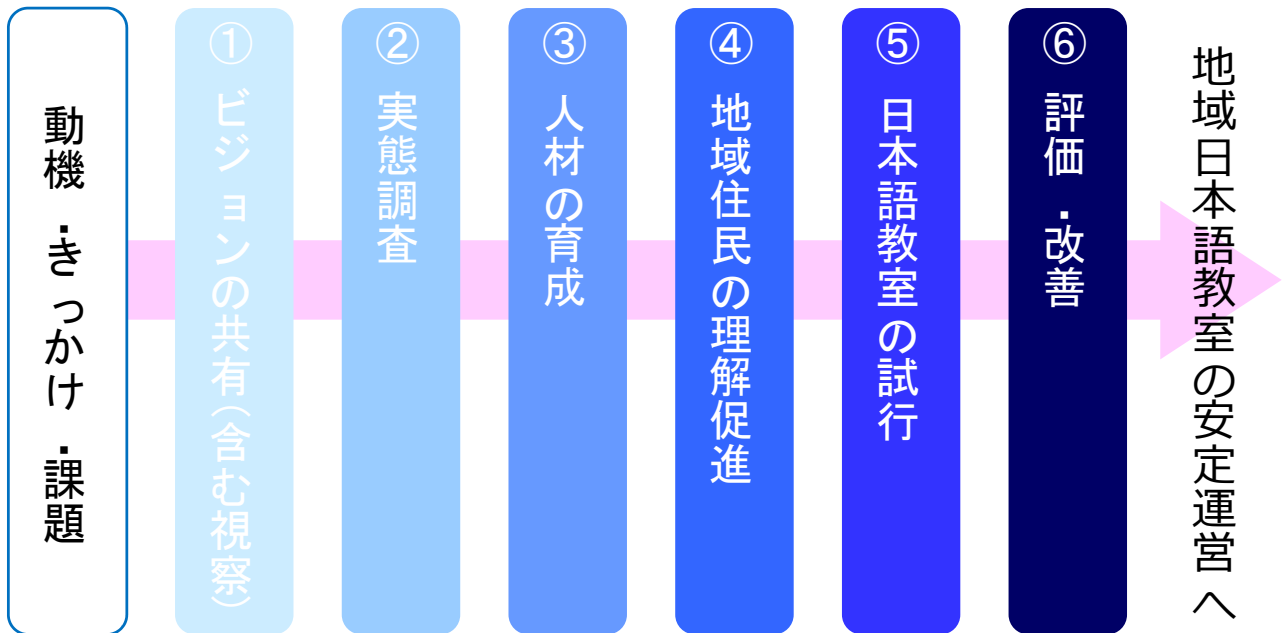


杉澤経子(2012)「地域日本語教育分野におけるコーディネーターの専門性—多文化社会コーディネーターの視座から—」『シリーズ 多言語 多文化協働実践研究』no.15 p.6 -25 より

# 事例を聞く際に…



# 日本語教室立ち上げのプロセス(案)



文化庁(2019)『地域日本語教育スタートアッププログラム報告書～日本語教室立ち上げハンドブック～』より

## 共に生きる「まちづくり」のために…



教室の「内」と「外」を繋ぎ  
地域の問題を解決する力に…